

## 2 予算の執行状況

### (1) 収益的収入及び支出（記載金額は消費税及び地方消費税額を含む。）

収益的収支に係る予算の執行状況は、次のとおりである。

#### ア 収益的収入の予算執行状況

##### 収入

(単位:千円・%)

区 分	予算現額 A	決算額 B	予算現額に対する 決算額の増減	執行率 (B/A)
<b>下水道事業収益</b>	<b>8,268,011</b>	<b>8,127,363</b>	<b>△ 140,648</b>	<b>98.3</b>
営業収益	5,151,520	5,142,232	△ 9,288	99.8
営業外収益	3,115,052	2,970,811	△ 144,241	95.4
特別利益	1,439	14,320	12,881	995.1

(備考) 決算額には、仮受消費税及び地方消費税 433,896 千円を含む。

営業収益は、下水道使用料 47 億 1,840 万 7 千円及び雨水処理負担金 3 億 2,368 万 4 千円が主なものである。営業外収益は、長期前受金戻入<sup>(注)</sup> 22 億 1,116 万円及び他会計補助金 5 億 5,643 万 4 千円が主なものとなっている。

(注) 1 長期前受金：減価償却を行うべき固定資産の取得又は改良に充てるための補助金等の交付を受けた場合における、その交付を受けた金額に相当するもの

2 長期前受金戻入：償却資産の取得又は改良に伴い交付される補助金等について負債に計上した長期前受金のうち、減価償却見合い分を収益化したもの

#### イ 収益的支出の予算執行状況

##### 支出

(単位:千円・%)

区 分	予算現額 A	決算額 B	繰越額	不用額	執行率 (B/A)
<b>下水道事業費用</b>	<b>7,448,205</b>	<b>6,878,802</b>	<b>403</b>	<b>569,000</b>	<b>92.4</b>
営業費用	6,527,031	6,058,811	403	467,817	92.8
営業外費用	875,105	782,886	0	92,219	89.5
特別損失	38,425	37,105	0	1,320	96.6
予備費	7,644	0	0	7,644	0

(備考) 決算額には、仮払消費税及び地方消費税 162,252 千円を含む。

営業費用は、減価償却費 39 億 8,152 万 9 千円や、処理場費 12 億 1,154 万 8 千円が主なものである。また、不用額については、動力費や委託料の執行残が主なものである。なお、繰越額は、物件等調査業務において、年度内に業務が完了せず、やむを得ず翌年度に繰り越した業務にかかる金額である。

営業外費用は、企業債や借入金に係る支払利息である。

(2) 資本的収入及び支出（記載金額は消費税及び地方消費税額を含む。）

資本的収支（設備投資など、支出の効果が翌年度以降に及び、将来的な収益に対応することとなる取引などの収支）に係る予算の執行状況は、次のとおりである。

ア 資本的収入の予算執行状況

収入 (単位:千円・%)

区 分	予算現額 A	決算額 B	予算現額に対する 決算額の増減	執行率 (B/A)
<b>資本的収入</b>	<b>15,101,898</b>	<b>11,987,530</b>	<b>△ 3,114,368</b>	<b>79.4</b>
企業債	9,133,500	8,226,200	△ 907,300	90.1
補助金	4,671,289	2,917,021	△ 1,754,268	62.4
負担金	797,109	844,309	47,200	105.9
他会計からの 長期借入金	500,000	0	△ 500,000	0

資本的収入は、企業債 82 億 2,620 万円、補助金 29 億 1,702 万 1 千円が主なものである。

なお、企業債借入額 82 億 2,620 万円のうち、36 億 9,331 万 6 千円は前年度に企業債前借として借り入れたもので、本年度の企業債による収入額は 45 億 3,288 万 4 千円である。

イ 資本的支出の予算執行状況

支出 (単位:千円・%)

区 分	予算現額 A	決算額 B	繰越額	不用額	執行率 (B/A)
<b>資本的支出</b>	<b>17,403,253</b>	<b>12,872,803</b>	<b>2,861,323</b>	<b>1,669,127</b>	<b>74.0</b>
建設改良費	13,738,205	9,218,050	2,861,323	1,658,832	67.1
企業債償還金	3,655,048	3,654,753	0	295	100.0
予備費	10,000	0	0	10,000	0

(備考) 決算額には、仮払消費税及び地方消費税 809,477 千円を含む。

資本的支出は、建設改良費のうち雨水施設建設費 43 億 3,637 万 3 千円及び管渠建設費 37 億 7,352 万 9 千円が主なものである。建設改良費の繰越額は、主に継続費を設定して実施した中央浄化センター施設改修事業にかかる工事費を翌年度に繰り越したことなどによる。

ウ 資本的収支の不足額

先に述べたように、本年度の企業債借入額 82 億 2,620 万円のうち、36 億 9,331 万 6 千円は前年度に企業債前借として借り入れたものである。

そのため、資本的収支不足額は、以下のとおり 45 億 7,858 万 9 千円となる。（補填状況については、「(3) 資本的収支不足額の補填状況」を参照）

$$\begin{array}{r} \text{資本的収入額} \\ (11,987,530 \text{ 千円} \end{array} \quad \begin{array}{r} \text{4 年度に前借した企業債} \\ - 3,693,316 \text{ 千円}) \end{array} \quad \begin{array}{r} \text{資本的支出額} \\ - 12,872,803 \text{ 千円} \end{array} = \Delta 4,578,589 \text{ 千円}$$

### (3) 資本的収支不足額の補填状況

資本的収支不足額の補填状況は、次表のとおりである。

#### 資本的収支不足額の補填の内訳

(単位:千円)

区 分	補填額
消費税及び地方消費税調整額(過年度分)	175,627
消費税及び地方消費税調整額(当年度分)	287,230
減債積立金	700,000
損益勘定留保資金(過年度分)	2,689,894
損益勘定留保資金(当年度分)	725,838
<b>計</b>	<b>4,578,589</b>

(備考)

- 1 消費税及び地方消費税調整額：仮受消費税額等と仮払消費税額等との差額から特定収入見合消費税額を除いたものを、資本的収支予算の調整額として会計上別途内部留保するもの。
- 2 減債積立金：特定の目的のため議会の議決を経て積み立てた積立金の一つで、補填財源として使用できる。
- 3 損益勘定留保資金：実際の支出が行われずに帳簿上計上される費用の合計額。内部留保資金にできる。